

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・僻地診療、往診医と細かな変化も情報共有することを心掛け、連携の充実を図っている。 ・自宅での暮らしを継続するために必要な「自分で出来ている事」を維持できるように、その人らしさを大切にしながら見守り、必要なお手伝いのみ行う事を心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホームみさき	管理者	渡辺 純子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	人	人	7人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上を目的とした研修を継続すると共に、ご家族が得たい介護技術方法や情報を伝達する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ介護通信として3回お便りを発行した 	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつの当て方や介護に必要な情報を伝えて貰えると助かると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上を目的とした研修を継続すると共に、ご家族が知りたい情報や知識を年6回発行する
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に参加していただける行事を定期的に企画し、ご利用者と地域の方が交流できる居心地の良い場を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・干物作りを春・秋に昨年の倍の計4回実施し地域の方にボランティアでご協力いただき利用者との交流も行えた。 ・みさきに一度も来て頂いた事のない地域の方に声をかけお茶会を開いた。地域の方同士も久しぶりに会う方も多く交流できたことで喜んでいただいた 	<ul style="list-style-type: none"> ・来れる来れないは別として、お茶会の時のように案内を貰えれば、どういった行事をしているとか、ちょっと様子を見に行こうといった事に繋がる。 ・母がお世話になっており良くしていただいている。母にとって居心地の良い場所になっている事は理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までみさきに足を運んだ事のない方にも参加していただけるお茶会などのイベントを増やし、利用者や地域の方との交流だけでなく、地域の方同士の交流しやすい場作りとなる様努める
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の機会を増やし「福祉相談」が気軽に出来るような関係性の向上を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は地域の行事に僅かしか参加出来なかったが、今年度は常神祭りやみさきちのイベントに参加させていただき地域交流の機会を増やすことができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場で、相談実績や相談事例の報告をして貰いたい。 ・こういった内容の相談も受け付けますよと判り、気軽に相談していただく切っ掛けになるためにみさき通信に相談事例を掲載し情報提供すると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事にも積極的に参加し「福祉相談」するなら、「みさき」と身近な存在となるよう取り組む

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各集落に定期的に散歩をかねて出かけ、集落の人との交流・気分転換を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 春や秋の天候の良い日に車椅子や歩いての散歩で神子に行き、通りすがりの地域の方との交流ができた。 みさきちが開いている時は、みさきちまで散歩に出かけて管理を任されている地域の方と日向ぼっこをしながらお話しをした。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の集落でみさきを利用していない人から、みさきの人が様子をみに来てくれたとの話を聞く。 お茶会を開いたことで、今までみさきの建物の中に入った事なかった方たちも足を運んでくれて好評だったようで良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりの会いたい人、行きたい場所、やりたい事を地域の方の協力も得ながら実現する
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の場で、地域の気掛かりな方や気掛かりな事柄について話し合う時間を設け情報の共有・対策を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の気掛かりな方の話題は上がり情報の共有は出来ているが、対策の検討には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員でも運営推進会議に出席して初めて知ることも多い。 介護が必要な方がいたとしても遊子や塩坂越の方は小学校も違うので、常神に向かっての知り合いや友達はいないから、みさきには来にくいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員の方に事業所のイベントや防災訓練の際に足を運んでいただき、話し合う機会を増やす
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の受け入れ先として機能するため、地域での避難訓練に参加し防災対策を地域の方々と検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 地震により裏山の山肌の地盤が緩くなり、みさきにちに避難する想定避難訓練を実施しみさきちの管理をされている地域の方にも協力していただいた。 地域の避難訓練は日曜日だったため、利用者も居られず参加はできなかったが、職員の緊急連絡網の訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の避難訓練に参加した事がないが、案内をいただければ参加できるかもしれないので呼んで欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時スムーズに対応できるように地域での避難訓練に参加、防災対策や災害時の対応について日頃から職員同士で話し合う時間を持つ